

ほかにもいるよツバメの仲間

コシアカツバメ

外側の2枚が長い
(燕尾)

喉が赤い

喉から尾のつけ根にかけて黒い斑点がある

ツバメより少し大きい
建物の高い位置にとっくり形の巣をつくります。

イワツバメ

頭の上半分から背中側は青い光沢がある黒色

喉が白い

お腹側は白い

ツバメより小さい

橋の下や大きなコンクリートの建物の軒下などで集団で繁殖します。

ツバメに姿が似ている鳥

ツバメに飛び姿が似ている、アマツバメとヒメアマツバメが飛んでいることがあります。名前にツバメが入っていますが、ツバメとは違う仲間の鳥です。

アマツバメ

喉が白い

腰が白い

胸から下に白い斑点がある

切れ込みが深い

ツバメより大きくて翼が細長く、尾が短く見える

ヒメアマツバメ

喉が白い

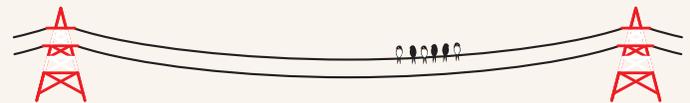
腰が白い

胸から下が黒褐色

切れ込みが浅い

イワツバメよりやや大きく、アマツバメより小さい

生活様式が似ていると姿も似る
 アマツバメはツバメと同じように、空中の昆虫を捕まえて食べる生活をしています。似た生活様式に適応した結果、似た姿に進化したと言われていています。このような現象を「収斂進化」と言います。



公園のきまり

- ・園内の生きものは採取したり、持ち帰らないようにしましょう。
- ・立ち入ってもよい場所か確認して観察しましょう。
- ・スズメバチに出会ったら、立ち去るまでじっと待ちましょう。

公園のツバメたち

春になり、ツバメが渡ってきました。
 空を飛んでいるツバメたちは、公園で何をしているのでしょうか。
 身近な渡り鳥「ツバメ」の生活を観察してみませんか？

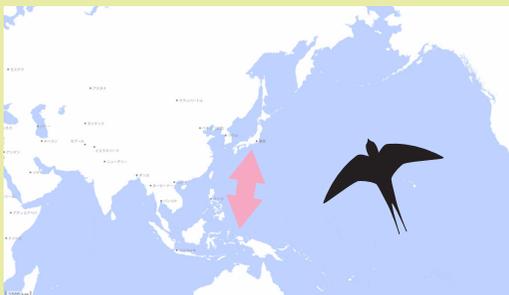


ツバメがやってきた!

ツバメは子育てをするために春に日本へ渡ってくる夏鳥です。農作物を食べたり、農作物の病気を運ぶ昆虫を食べるため、昔から人の役に立つありがたい鳥として親しまれてきました。

どこから渡ってくるの？ なぜ渡るの？

足輪をつけたツバメを確認する調査から、ツバメは主に東南アジアの熱帯や亜熱帯で冬をすごしていることがわかっています。繁殖期である春から夏に日本へ渡ってくるのは、日本がある温帯は春になるとツバメが食べる昆虫が爆発的に発生するためです。熱帯にとどまるよりも食べものが多く、子育てがしやすいからだと考えられています。秋には南へ渡ります。



出典：「ツバメのせかい」p10 図説 29 を参考に国土地理院ウェブサイト（地理院地図、淡色地図）を用いて作成

タイ、マレーシア、インドネシアなどの東南アジアの国々から日本へ渡ってきます。渡りのルートは、まだはっきりとはわかっていません。

飛ぶのが上手

ツバメは飛翔に適した体のつくりをしています。流線形の体と、長くとがった翼で機敏に方向転換したり、長時間の飛行ができます。飛びながら、空中のハエやカ、トンボの仲間などの昆虫を捕まえます。



公園での暮らし



空中の昆虫を追う

採餌

口を大きく開けて、空中の昆虫を丸のみします。跳びあがった地上性の昆虫を食べることもあります。

水飲み・水浴び

飛びながら一瞬で行います。水鳥の池の水面近くを飛び、水飲みや水浴びをする様子が見られるかもしれません。



水浴びのために水に飛びこむ



泥集め

泥を集めに田んぼにおりてきます。飛翔能力を上げた結果、足が短く進化したため、歩くのは苦手です。

こもれびの里の田んぼで泥集め

公園で集めた泥はどうなる？

集めた泥は口で団子状にして、巣の材料にします。民家や駅ビルなど人が生活する建物の軒先に、枯れ草や唾液と混ぜてくっつけ、おわん型の巣をつくりまします。巣づくりはオスとメスが一緒に行い、約1週間で完成します。公園の周辺には巣をつくっているツバメがいます。見かけたら観察してみてください。



巣で卵を温めるツバメ